



▲力を合わせて地引綱(校区ふれあいまつり)



▲みんなで海岸清掃(校区ふれあいまつり)

地域の話題

若戸校区

ふれあいのまちづくり

「人と自然と産業が共生する豊かで活力あるまち」
を目標に地域づくりを進めている

若戸校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



昔ながらの田舎の良さが受け継がれている若戸校区では、日

ごろから、人と人とのふれあいが盛んです。これは、どこの地区にも負けない長所だと自負しています。

今年度は、地域の一大イベントとして定着した「市民館まつり」をはじめとして、平成22年度から始めた「校区ふれあいまつり」、若戸小学校の「ゆりのき祭り」など、さまざまな行事を行いました。

こうした行事でのふれあいを通じて、子どもたちに、おじいさん・おばあさんを大切にするやさしい心や、お父さん・お母さんを尊敬する穏やかな心が育まれることを期待しています。また、隣近所の絆も一層高まり、災害時などの助け合いに、必ず役立つと確信しています。

地域発

ふれあいを育む「まつり」

昨年10月1日に、池尻海岸で「校区ふれあいまつり」を開催しました。まつりでは、地域住民や親子が一緒になって、海岸清掃、ドッジボール、地引綱などを行い、気持ちのいい海風の中で、お互いの絆を確かめました。

また、10月30日には、若戸市民館で「市民館まつり」を開催しました。

芸能発表会、絵画・書道・生け花などの作品展示のほか、各種団体によるうどんやクレープ、みたらし団子などの屋台が出店し、多くの人でにぎわいました。中でも、小さな子どもを対象とした輪投げやスーパーボールすくい、射的などのゲームは大盛況となりました。



▲大人気のスーパーボールすくい(市民館まつり)



▲多目的ホールの芸能発表会(市民館まつり)

若戸校区が目指す、「安全安心に暮らせるまち」「自然豊かなまち」「活力あるまち」は、人と人とのふれあい、互いの尊重から自然に実現されていくものだと思います。これからもさまざまなイベントを通して、ふれあいの輪を広げる取り組みを行っていきます。